

令和8年度「正規雇用採用力向上支援事業」業務委託に係る質問事項回答

質問1：ポータルサイトの運用について

現在運用されている事業専用サイトのドメインや一部コンテンツ等について、令和8年度の受託者が引き継いで運用・更新していくことは想定されていますでしょうか。

新年度において新たなドメイン取得及びサイト構築を行うことを前提として精算すべきでしょうか。

【回答】

これまでの実績等のデータについては引き継いでいただきたいと考えていますが、サイトそのものを引き継げるかどうかは調整によると考えていますので、新たなドメイン取得及びサイト構築を前提に積算をお願いします。

質問2：専門家派遣の「1社あたりの想定回数」について

現行サイトには専門家派遣について10回程度訪問と具体的な記載を拝見いたしました。令和8年度の事業におきましても1社あたりの支援回数や期間について（平均〇回程度など）目安を想定されていらっしゃるのでしょうか。

各企業の課題に応じて受託者が柔軟に回数を設計して提案してよろしいでしょうか。

【回答】

専門家派遣の1社あたりの支援回数については、県としてもある程度の目安は設けていますが、事業目的を達成することを前提に、各企業の課題に応じて受託事業者で柔軟に回数や期間を提案することは可能です。ちなみに、県としては1社あたり6～7回程度の派遣を目安としています。

質問 3 : 離島・北部地域のイベントについて

離島および北部地域の企業様に対するマッチングイベントについて、UIJ ターン希望者はオンライン形式での開催導入は可能でしょうか。

【回答】

企業と求職者のマッチングイベントについて、実施方法に制限は設けていませんが、事業目的を達成する提案であれば実施可能です。ご質問のオンライン形式での開催については、UIJ ターン希望者にとって有用であれば可能です。効果的な提案をお願いします。

質問 4 : 成果指標について

事業期間終了の令和 9 年 3 月 25 日時点で内定を出しており、4 月 1 日に入社予定となる求職者についても、本事業の成果（正規雇用者数 45 名）としてカウントしてよろしいでしょうか。

【回答】

事業期間に内定が出ている方については、成果としてカウントすることは可能です。

質問 5 : 定着状況の検証について

事業期間の後半2月～3月に採用に至った方について、委託期間内に定着状況の効果的な検証・報告を行うための、県が想定される最適なスキーム（アンケートなど）があればご教示いただけますでしょうか。

【回答】

定着状況の検証については、採用後1年後の状況について調査の報告を求めています。受託者が変わった場合は、前任の受託者から、支援した企業や採用者等の情報を引き継いで調査を実施することとなります。

また、令和8年度の事業で就職した者の定着状況については、その翌年度に実施していただくこととなりますが、本事業の効果等の検証に有効な調査について提案をお願いしたいと考えております。

調査の項目の例としては、在職中の者の人数、離職した者の人数、定着率、離職した理由、定着の状況を基本としますが、その他に必要と思われる項目や調査の方法などについて提案をお願いします。

質問 6 : マッチングイベントについて

現行事業のように労働局や他機関が主催する既存の大型イベント（合説）に本事業の支援企業を集めた特設ブースを設ける形などで共催・参画することも、イベント開催の1回として認められますでしょうか。

【回答】

マッチングイベントの実施方法については、特に定めはありませんが、事業目的を達成するための提案であれば、自由に企画提案で提案していただいてもよいと考えております。ご質問にある方法でも1回として認められると考えております。